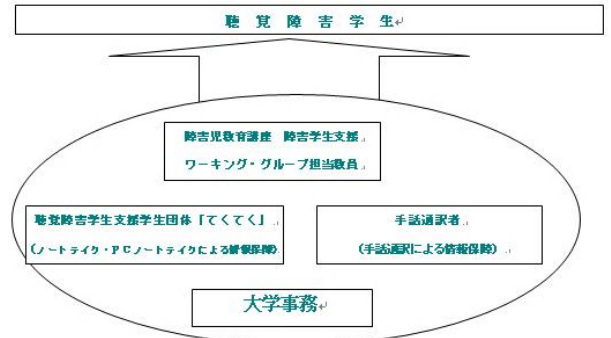


支援者間の連携 ~ 出欠席確認ツールとコミュニケーションシートの活用 ~

2008年度、本学には2名の聴覚障害学生が在籍しており、学外派遣による手話通訳と、聴覚障害学生支援学生団体「てくてく」によるパソコンノートテイクおよびノートテイクを中心に情報保障活動を行っている。特に「てくてく」における活動の中で、支援者らの出欠席確認ツールを用いることで効率的な支援体制の確立を行ったり、授業毎に支援者にコミュニケーションシートに記入してもらい、この記述などをもとに情報保障の質の向上を目指している。

愛知教育大学における聴覚障害学生支援の組織図

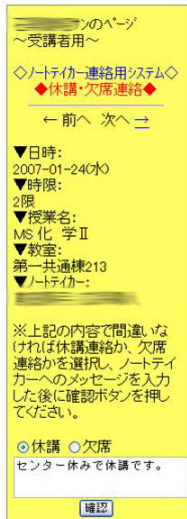


出欠席連絡ツール

支援者は、担当する講義時間に関する出欠席報告のため、管理サーバに携帯Webなどを用いてアクセスする。このサーバにおいては、講義への欠席連絡と同時に代理募集を行うなどの機能を有する。管理サーバは、Linux上にPHPを用いて構築している。

聴覚障害学生が欠席、あるいは授業が休講になったりしたとき、事前にメールで連絡されたアドレスにアクセスし、下図の画面にて欠席連絡を行うと自動的に支援者、コーディネータへの連絡が行われる。また、支援者が何らかの理由で出席できなくなった場合、同様の画面にて欠席連絡を行うと、聴覚障害学生、支援者のパートナー、コーディネータに欠席する旨の連絡メールが配信されると同時に、交代募集のメールが全支援者に送信される。

このツールを用いることで、従来コーディネータの役割であった支援者の交代募集などの作業がシステム上で自動的に行われ、作業量の軽減に繋がっている。



欠席連絡の流れ

- ・ 休講、欠席連絡する授業を選択
- ↓
- ・ 「休講」か「欠席」を選択し、担当のノートテイクにメッセージを入力
- ↓
- ・ 「確認」ボタンを押す
- ↓
- ・ 確認画面で、入力した内容を確認
- ↓
- ・ 「送信」ボタンを押す
- ↓
- ・ 休講もしくは欠席の記録がされる
- ↓
- ・ 担当のノートテイクへ「休講・欠席連絡メール」が送信される

コーディネータは、以下の画面で、支援者らの出欠席、および交代状況を確認できる



コミュニケーションシート

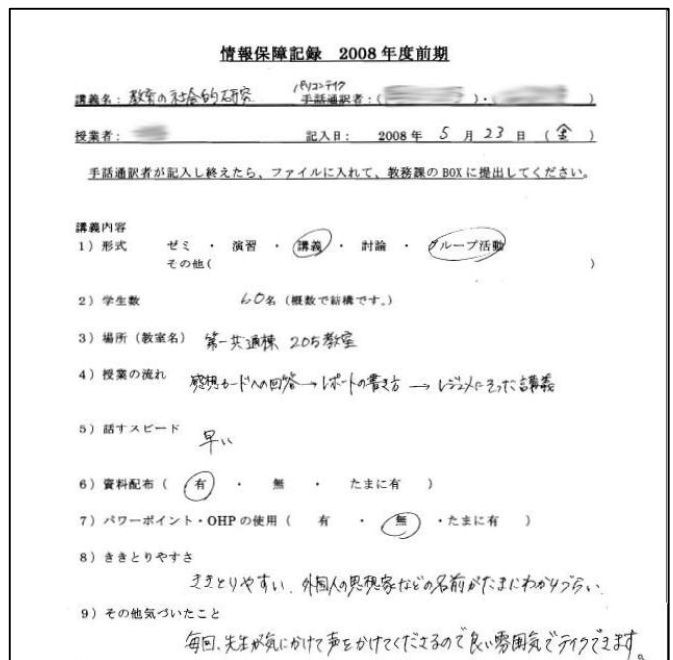
支援者や聴覚障害学生は、授業ごとに右図のようなコミュニケーションシートを記入し、週2回行っているミーティングにて情報を交換している。これらの情報を支援者間で共有することで、お互いの理解が深まり、よりよい関係ができていく。いくつか出てきた意見を以下に記す。

- ・ 聴覚障害学生からの意見 「PCテイクに限定せず、場面に応じて身振りや通訳してくれたり、紙に書いてくれたので、分かりやすかった。」「テイクが突っ走るのではなく、何か分からない事などがあれば絶えず確認してほしい。」
- ・ 支援者からの意見 「タイピングスピードに差があり、タイピング練習の必要性を感じた」「聾学生は「やりやすいやり方でやってくれていいよ」と言ってくれるが、小さな事でも良いので、気になる事などがあれば言ってほしい。マンネリ化してしまうので・・・」「聾学生だけでなく、テイクの事も気にかけて言葉をかけてくれうれしかった」

また、ミーティングにおいては、単位時間内の日本語テキスト入力を行ったりして、スキルの確認などを行っている。

課題

コーディネータのよりいっそうの負担軽減、とくに授業開始時期の支援者の割り当てに関して、支援者間での調整ができるようなシステム構築を行う。また、共有サイトの活用方法を検討し、リアルタイムに近い形で情報共有を目指す。



問い合わせ先

愛知教育大学 情報教育講座 高橋岳之 連絡先(e-mail: take@aeu.ac.jp)

(愛知教育大学 障害者支援サイト) <http://www.aichi-edu.ac.jp/campuslife/kyomu/shien.html>